

新潟板倉・群馬板倉子ども会交流会 いたくら同士の交流



7月27日(土)・28日(日)、新潟板倉・群馬板倉子ども会交流会が行われました。これは平成2年から続く「いたくら同士」の相互交流で、今年度は群馬板倉の子ども達が新潟県上越市板倉区を訪ねました。子ども達はお互いの名刺交換から始まり、信越トレイル散策、バーベキューやレクリエーション、地すべり資料館での勉強など、2日間を十分楽しみ、交流を深めました。来年度は我が板倉町に新潟板倉の子ども達がやってきます。

中学生と赤ちゃんのふれあい教室 わらかくて、かわいい



8月1日(木)、保健センターで中学生と赤ちゃんのふれあい教室が開催されました。12人の中学3年生と、17組のお母さんと赤ちゃんが参加してくれました。参加した渡辺かぐらさんは「小さい子とふれあったときは上手にだっこできるか不安でしたが、お母さん達にアドバイスをもらい、よい経験になりました。自分の親に感謝の気持ちを伝えたくりました」と話してくれました。

第15回ムシキングすもう大会 それいけ はっけよい

8月3日(土)、わたらせ自然館で第15回ムシキングすもう大会が開かれました。参加した16人の子ども達が、自慢のカブトムシやクワガタを戦わせました。

夏休みに入ってから、ずっとこの大会を楽しみにしていたという水戸部連さん(6歳、朝日野)と友碧さん(4歳)の兄弟は「楽しかったです。毎日虫探しをしています」と教えてくれました。



板倉町教職員全体研修会 これからの防災教育を学ぶ

8月6日(火)、板倉町役場で、町内の小中学校の先生を対象とした教職員全体研修が行われました。国土交通省利根川上流河川事務所防災対策課、國吉裕夫課長と役場総務課安心安全係の担当係長を講師に迎え、「板倉町の水害特性とこれからの防災教育」をテーマとし、来年度から改訂される小学校社会科の内容に先んじて行われ、先生方は熱心に聴講していました。



第35回板倉まつり 夏がやってきた

8月3日(土)、板倉東洋大前駅西口南側広場を会場に、第35回板倉まつりが開催されました。

特設ステージでは、ダンスや民舞、楽器演奏、キャラクターショーなどさまざまな発表が行われ、会場内では模擬店やアトラクションが17,000人の来場者を楽しませました。恒例の打ち上げ花火が上ると、夏の夜の祭りは盛況のうちにフィナーレを迎えました。

